

大卒「就職率」は 67.3% で 3 年連続アップ

“不安定な雇用”、大卒者の 20.7%、11.6 万人！

旺文社 教育情報センター 平成 25 年 9 月

25 年 3 月に大学を卒業した 55 万 9 千人のうち、就職者総数は 37 万 6 千人で、就職率は 67.3% であることが、このほど発表された文部科学省の『平成 25 年度学校基本調査速報』でわかった。就職率に改善の兆しは見えている一方で、「安定的な雇用に就いていない」大卒者（＝「進学も就職もしていない者」＋「一時的な仕事に就いた者」＋「就職者のうち正規の職員等でない者」）は 11 万 6 千人にも上る。

ここでは大学・短大の就職率の推移等について紹介する。

■就職率は 3 年連続アップ

25 年 3 月の大学（学部）卒業生数は、55 万 9 千人。このうち、就職者総数（「大学院等進学者のうち就職している者」を加えた就職者数）は 37 万 6 千人で、前年より 1 万 9 千人（5.3%）増加。就職率（就職者総数÷学部卒業生数、以下同）は、67.3% で、前年より 3.4 ポイントアップし、3 年連続の上昇となった。なお、就職者のうち、「正規の職員でないもの」は 2 万 3 千人で、就職者総数に占める割合は 6.0% となっている。（表①参照）

一方、25 年 3 月の短大（本科）卒業生数は、6 万 2 千人。このうち、就職者総数（「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた就職者数）は 4 万 6 千人で、前年より 1 千人（1.4%）減少。就職率は、73.5% で、前年より 2.7 ポイントアップし、こちらも 3 年連続の上昇となった。（表②参照）

■大学(学部)の状況別卒業生数

(表①)

| 年度 | 卒業生数 (人) | 就職者(人) | | 「大学院等への進学者」のうち 就職している者(人) | | (再掲) 就職者総数(人) | 就職率 |
|------|-------------|---------|--------------------------|------------------------------|--------------------------|------------------|-------|
| | | 正規の職員等 | 正規の職員等で ない者 | 正規の職員等 | 正規の職員等で ない者 | | |
| | A | B | C | D | E | F=B+C+D+E | F/A |
| 平成20 | 555,690 | 388,417 | | 63 | | 388,480 | 69.9% |
| 21 | 559,539 | 382,434 | 「正規の職員等」と「正規の職員等でない者」の合計 | 51 | 「正規の職員等」と「正規の職員等でない者」の合計 | 382,485 | 68.4% |
| 22 | 541,428 | 329,132 | | 58 | | 329,190 | 60.8% |
| 23 | 552,358 | 340,143 | | 74 | | 340,217 | 61.6% |
| 24 | 558,692 | 335,048 | 21,963 | 47 | 30 | 357,088 | 63.9% |
| 25 | 558,853 | 353,123 | 22,738 | 50 | 48 | 375,959 | 67.3% |

(注)①「大学院等への進学者」＝大学院研究科、大学学部、短大本科、大学・短大の専攻科・別科へ入学した者。また、進学しかつ就職した者を含む。

②就職者のうち「正規の職員等でない者」(H24年度より新設した項目)＝雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。

■短大(本科)の状況別卒業生数

(表②)

| 年度 | 卒業生数 (人) | 就職者(人) | | 「進学者」のうち就職している者(人) | | (再掲) 就職者総数(人) | 就職率 |
|------|-------------|--------|--------------------------|--------------------|--------------------------|------------------|-------|
| | | 正規の職員等 | 正規の職員等で ない者 | 正規の職員等 | 正規の職員等で ない者 | | |
| | A | B | C | D | E | F=B+C+D+E | F/A |
| 平成20 | 83,900 | 60,413 | | 1 | | 60,414 | 72.0% |
| 21 | 78,056 | 54,585 | 「正規の職員等」と「正規の職員等でない者」の合計 | 2 | 「正規の職員等」と「正規の職員等でない者」の合計 | 54,587 | 69.9% |
| 22 | 71,394 | 46,722 | | 1 | | 46,723 | 65.4% |
| 23 | 66,871 | 45,580 | | 7 | | 45,587 | 68.2% |
| 24 | 65,682 | 40,216 | 6,290 | 3 | 0 | 46,509 | 70.8% |
| 25 | 62,403 | 39,740 | 6,128 | 3 | 0 | 45,871 | 73.5% |

(注)①「進学者」＝大学学部、短大本科、大学・短大の専攻科・別科へ入学した者。

②就職者のうち「正規の職員等でない者」(H24年度より新設した項目)＝雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。

なお、文部科学省・厚生労働省の調査により毎年4回（10・12・2・4月）発表される「就職率」もあるが、こちらは62大学・20短大の抽出調査であり、また就職率の算出方法も「就職希望者に対する調査時点での就職者の割合」で、『学校基本調査速報』の数値とは異なっているので注意を要する。

※参考：「大学生の就職率は93.9%、わずかに回復！」（平成25年4月1日現在）

http://eic.obunsha.co.jp/resource/pdf/educational_info/2013/0527_02_k.pdf

■「安定的な雇用に就いていない」大学生は20.7%

学部卒業後、「進学も就職もしていない者」は7万6千人、「一時的な仕事に就いた者」は1万7千人、「就職者のうち正規の職員等でない者」は2万3千人で、これらの合計（＝「安定的な雇用に就いていない者」）、つまり“不安定な雇用者”は、11万6千人。大学卒業者の20.7%（前年度、22.9%）を占め、依然として高い割合となっている。

なお、23年度までは、「就職者のうち正規の職員等でない者」の区分がないため、23年度までの算出方法をとると、25年度の割合は16.6%（同、19.0%）となる。（表③参照）

また、「就職も進学もしていない者」7万6千人のうち、「進学準備中の者」は3千人、「就職準備中の者」は4万2千人だった。

一方、短大（本科）卒業後に「安定的な雇用に就いていない者」は1万4千人で、短大卒業者に占める割合は23.2%（同、25.4%）となっている。（表④参照）

■大学(学部)卒者のうち「安定的な雇用に就いていない者」 (表③)

| 年度 | 卒業者数 (人) | 一時的な仕事 に就いた者(人) | 就職も進学も していない者(人) | 就職者のうち 正規の職員等でない者 (人) | 安定的な雇用に 就いていない者(人) | 安定的な雇用に 就いていない者の割合 |
|------|-------------|--------------------|---------------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|
| | A | B | C | D | E=B+C+D | E/A |
| 平成20 | 555,690 | 11,485 | 59,791 | | 71,276 | 12.8% |
| 21 | 559,539 | 12,991 | 67,894 | | 80,885 | 14.5% |
| 22 | 541,428 | 19,332 | 87,174 | | 106,506 | 19.7% |
| 23 | 552,358 | 19,107 | 88,007 | | 107,114 | 19.4% |
| 24 | 558,692 | 19,569 | 86,566 | [21,993] | 106,135 [128,128] | 19.0% [22.9%] |
| 25 | 558,853 | 16,850 | 75,928 | [22,786] | 92,778 [115,564] | 16.6% [20.7%] |

(注)①「就職も進学もしていない者」＝家事の手伝いなど就職でも、「大学院への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明確な者。
②就職者のうち「正規の職員等でない者」(H24年度より新設項目)＝雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。
③「安定的な雇用に就いていない者」＝「就職者」のうち「正規の職員等でない者」+「一時的な仕事に就いた者」+「進学も就職もしていない者」。
④24・25年度の[]数値は、「就職者のうち正規の職員等でない者」の数値、あるいは「就職者のうち正規の職員等でない者」を加えた数値。

■短大(本科)卒者のうち「安定的な雇用に就いていない者」 (表④)

| 年度 | 卒業者数 (人) | 一時的な仕事 に就いた者(人) | 就職も進学も していない者(人) | 就職者のうち 正規の職員等でない者 (人) | 安定的な雇用に 就いていない者(人) | 安定的な雇用に 就いていない者の割合 |
|------|-------------|--------------------|---------------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|
| | A | B | C | D | E=B+C+D | E/A |
| 平成20 | 83,900 | 3,215 | 8,400 | | 11,615 | 13.8% |
| 21 | 78,056 | 3,450 | 9,037 | | 12,487 | 16.0% |
| 22 | 71,394 | 3,880 | 9,986 | | 13,866 | 19.4% |
| 23 | 66,871 | 3,208 | 8,642 | | 11,850 | 17.7% |
| 24 | 65,682 | 2,673 | 7,702 | [6,290] | 10,375 [16,665] | 15.8% [25.4%] |
| 25 | 62,403 | 2,115 | 6,225 | [6,128] | 8,340 [14,468] | 13.4% [23.2%] |

(注)①「就職も進学もしていない者」＝家事の手伝いなど就職でも、「大学等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明確な者。
②就職者のうち「正規の職員等でない者」(H24年度より新設項目)＝雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。
③「安定的な雇用に就いていない者」＝「就職者」のうち「正規の職員等でない者」+「一時的な仕事に就いた者」+「進学も就職もしていない者」。
④24・25年度の[]数値は、「就職者のうち正規の職員等でない者」の数値、あるいは「就職者のうち正規の職員等でない者」を加えた数値。